

ニホンジカ影響簡易チェックシート

Ver 3.0 山梨県森林総合研究所

全ての質問に回答して下さい。枝番は必要に応じて回答して下さい。

記入上の注意点(注*)は、裏面に記載してあります。

質問①: 調査日

年 月 日

質問②: 調査した場所^{注1}

緯度経度がわかる場合^{注2}:

↓ 該当部分に○ ↓

小班名がわかる場合:

県有林	中北	峡東	林班	小班
民有林	峡南	富士・東部		

場所名がある場合:

質問③: 木^{注3}の皮剥ぎ(剥皮)の状況について

森林の木のうち、何パーセントが皮をはがれているか？

%(10%刻みで)^{注4}

剥皮が全く

↓ 1個体でも剥皮があった場合はこちら

質問③-1: 新しい剥皮はあったか?^{注5}

あった なかった

質問③-2: 剥皮されていた木の直径^{注6}は?

cm (10cm刻みで)

質問③-3: 剥皮されていた樹種は?

質問④: 高さ約1.5m以下の植生^{注7}の量について(以下の写真を参考にどちらか判定して○をつけて下さい)

1.5m以下のみ植生が極端に少ない

1.5m以下にも植生がある又は暗くて植生が少ない

1.5m以下のみ植生が極端に少ない



1.5m以下にも植生がある



暗くて植生が少ない



質問⑤: 高さ2m以下の植生の種類について

主にササ(枯れているササも含む)

それ以外

↓ それ以外の

↓ 主にササの場合はこちら

質問⑤-1: ササは全面的に枯れていたか?

いた いなかった

質問⑤-2: ササの高さは? 膝より

下 上

質問⑥: 高さ2m以下の植生におけるシカの食べ痕

あった なかった

質問⑦: シカ糞^{注8}の有無

あった なかった

質問⑧: シカ道の有無

あった なかった

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

送付方法: FAX(0556-22-8002)、電子メール(iijima-akks@pref.yamanashi.lg.jp)、ホームページ(<http://www.pref.yamanashi.jp/shinsouken/research/hogo/sikahigai.html>)のいずれか
送付先: 山梨県森林総合研究所森林保護科 飯島勇人

記入上の注意点

・本シートによる調査は、随時結果を受け付けています。

注1: 見る範囲は、剥皮がある場合はその周辺として下さい(被害の検出を優先したいので)。剥皮がない場合は、おおよそ代表的と思われる地点で調査を行ってください。

注2: 緯度経度については、GPS、インターネットのGoogle地図上で右クリックして「この場所について」をクリック(10進法の緯度経度)するなどして取得して下さい。

注3: 対象とする森林は、天然林や人工林などを問いません。植栽したばかりの場所の情報も募集しています。

注4: 剥皮率は、見える範囲の木の内剥皮されている木の割合です。剥皮された木が全く見られなければ0%、1~10%以内だと感じたら10%、11~20%以内だと感じたら20%、のように10%単位で構いません。

注5: 「新しい」とは、みずみずしく、剥皮された外側の樹皮が内側に巻き込んでいない、下の写真のような状態です。



注6: 直径は、高さ1.3m付近の位置を見てください。見た目で10cm以下なら10cm、10~20cmと感じたら20cmというように、10cm単位で構いません。

注7: この調査は、シカの口が届くおおよその高さということで1.5mとしていますが、多少前後しても構いません。林内が比較的明るいのに、不自然に1.5m以下の植生がない(見通しがいい)状態かどうかを判断して下さい。

注8: シカとカモシカの糞は、形状では区別は困難です。下の写真を見て、糞の量(カモシカはため糞をするため、100粒以上と大量)で区別して下さい。

シカの糞の例



カモシカの糞の例



(参考)シカの冬毛は中が空洞になっているため、指で挟むと折れます。カモシカの毛は、曲げても元に戻ります。